

呉圏域における住民の適正な小児救急医療受診の

効果的な啓発手法の検討について

西部厚生環境事務所・保健所呉支所

日下 仁彦・大出 勝広・中谷 恵子
奥藤 洋一・後田 智郁・増野 一郎

1 はじめに

全国的に、病院等救急医療の現場は、医師不足による過重労働に伴う疲弊や高齢化等により憂慮すべき事態となっており、呉二次保健医療圏（以下「呉圏域」という。）においても同様の問題を抱えている。

その中でも、呉圏域においては、公的病院3病院のうち1病院が平成23年9月から小児科の診療を休止したこともあり、小児救急医療体制の存続に危機感を持っている。小児科医の疲弊の緩和及び軽症患者の適正受診を目的とした啓発について取組を行っているので、その概要について報告する。

2 呉圏域の概要

呉圏域は、呉市と江田島市の2市を区域としている。

呉市は、平成15年から平成17年の3年間に8町（下蒲刈町、川尻町、音戸町、倉橋町、蒲刈町、安浦町、豊浜町、豊町）を合併し、江田島市は、平成16年に4町（江田島町、能美町、沖美町、大柿町）が合併して新設された。

呉市においては、歴史的な背景もあり、医療機関は、他の地域と比較すると充実しており、近隣市町からの受診者も多い。

江田島市においては、おおむね同市内で受診しているが、陸路や海路を利用して、呉市内、広島市内の医療機関へも受診している。

表1 呉圏域の状況

区分	人口(人)	小児人口 (15歳未満)	面積(k㎡)	病院	一般診療所
呉市	234,817	28,669	353.85	26	251
江田島市	25,838	2,461	100.98	4	24
計	260,655	31,130	454.83	30	275

※人口…「広島県人口移動統計調査」(平成24年11月1日現在)


※小児人口…「平成22年国勢調査」〔総務省統計局〕

※面積…「平成23年度全国都道府県市区町村別面積調」〔国土交通省国土地理院〕

※病院、一般診療所…(呉市保健所、県西部保健所呉支所)(平成24年9月30日現在)

表2 呉圏域の小児救急医療体制

平成24年12月31日現在

区分	初期救急		二次救急	三次救急
	夜間救急センター等	在宅当番医制		
呉市	呉市医師会		呉医療センター 中国労災病院 (輪番制) (22:40~翌8:30)	呉医療センター (救命救急センター)
江田島市		安芸地区医師会 佐伯地区医師会		

【小児初期救急】

区分	診療日	診療時間	診療科目	診療に携わる医師
休日急患センター	日・祝日 年末年始	9:00-18:00	内科・外科・小児科	開業医 12名
小児夜間救急センター	毎日	19:00-23:00	小児科	開業医 11名 公的病院医師 10名

夜間の初期小児救急に対応するため、平成15年10月に小児夜間救急センターが設置され、呉市医師会の小児科開業医と公的病院の小児科医が交替制により対応している。

また、産科勤務医師の減少に伴い、呉圏域の分娩取扱施設（公的病院等）について、県・広島大学・呉地域保健対策協議会等が連携し、平成20年4月に3病院から、地域周産期母子医療センターである2病院へ集約化・重点化された。

3 「小児救急医療」にかかる現状と問題点

(1) 小児科医師の減少及び高齢化

呉共済病院が平成23年6月から夜間の救急受入れを休止し、さらに9月末をもって小児科の診察を休止したこと等により公的病院勤務小児科医師数が19人から11名に減少し、休日や夜間の救急対応が更に困難になってきた。

また、新規の開業はなく、初期救急医療の開業協力医師の平均年齢は63.5歳であり、高齢化等による減少が進めば今後の体制維持が困難となる。

表3 休日急患小児科・小児夜間救急センター開業協力医師 年齢内訳

機関名	医師数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	平均年齢
休日急患小児科	12	0	0	0	5	4	2	1	0	63.6
小児夜間	11	0	0	0	5	4	0	2	0	63.4

(2) 救急受診者数の増加

平成 15 年 10 月に小児夜間救急センターを設置し、比較的軽症な患者に対応できる体制が整ったことにより、救急受診患者数は増加している。住民への適正受診にかかる広報を行っているものの、比較的軽症の患者が救急患者として二次・三次救急医療機関等へ直接受診することがあるため、本来の二次・三次救急医療に支障を来たすことがある。

二次・三次救急医療機関では、時間外の軽症の患者を対象に時間外選定療養費を平成 23 年 4 月から徴収しているが、救急受診者数に大きな変化は見られない。

このことは、緊急時の対応も含めて医療の質の低下を招き、ひいては、更なる医療体制の崩壊につながる恐れがある。

表4 休日急患・小児夜間救急センター受診者数

機関名	診療科	受診者数		1日平均受診者数	
		H22	H23	H22	H23
休日急患センター	小児科	3,665	3,386	53.1	49.1
	内科	1,761	1,989	25.5	28.8
小児夜間救急センター		4,619	4,229	12.7	11.6

4 効果的な啓発方法の検討

- (1) 地域住民に医師の疲弊等状況を知ってもらい、「医師の負担軽減のため、不要不急の受診は控える」意識を醸成するための啓発方法を「住民主体」で検討することとした。
- (2) 適正受診については、呉市のホームページ、広報誌やポスター・チラシの他、呉市医師会ホームページにより広報しているが、小児救急を受診する年齢層が就学前の割合が高いことから子育て中の保護者を対象に啓発することとした。
- (3) 呉市福祉保健課と協議し、親子が約 2000 人参加する「チャイルドフェスタ」で“子どもの救急かかり方教室”をする案も出たが、フェスタの趣旨とずれるとの意見があり見送った。

また、夜間小児救急受診者の保護者を対象にアンケートにより意識調査をしたい旨医療機関に打診したが、来院患者は原則診察を断らない方針等から協力を得られなかった。

- (4) 子育て中の保護者の意識を直接聞くため、呉市内の子育てサークルのうち、まず母親 20 名が企画・取材・記事・WEB ページ作成等役割分担しながら子育てしている親目線でサイトを運営している『くれパステル』に協力依頼することとした。
- (5) くれパステルの会合に同席し、中国新聞の呉地域の救急医療に関する記事を交え疲弊している小児科医師等の現状と緊急性の低い患者の割合が高いこと、課題解決には、更なる市民の理解と協力が必要であり、市民を含めた協議の場を設け、地域住民・医療機関・行政が一体となって呉市の小児救急医療の維持に取り組む必要があることを話した。

(6) 「小児科医が疲弊している現状を知らなかった。」「初期，二次，三次と機能分担されていることを知らなかった。同じ救急と思っていた。」等まだ周知されていない現状が明らかになった。また，子どもを受診させるべきか判断できず受診する場合も多いことがわかった。

(7) 保護者が現状を知り，適正受診することが大切であるという認識を持ってもらえたことから，勤務医の現状を取材する提案をしたところ 10 月上旬に取材し，12 月に WEB サイトに小児救急について特集することとなった。

また，こども家庭課が発行している「こどもの病気ハンドブック」は大変わかりやすく広く会員に広報するため勉強会を開催する提案も出た。

5 啓発の実施とその効果

(1) 呉医療センター小児科科長宮河医師にインタビュー取材するため，会員に疑問・質問を募集し，小児救急に関する意識付けができた。

(2) 12 月 29 日 WEB サイトに特集記事が掲載された。

- ・小児救急医療に関する疑問
- ・小児救急医療 宮河先生のインタビュー
- ・知っていますか？小児救急医療
- ・子どもの病気・けが SOS！

「子どもの病気・けが SOS！」は今後連載形式にする予定である。

(3) 特集記事に関して会員からは，「これを機会に取り組みを拡充していったらどうか。」「毎月は難しいが，季節ごとに流行するインフルエンザ等病気の対処方法等の特集してはどうか。」と前向きな意見がでている。

6 今後の課題及びまとめ

(1) 子育てサークル，呉市，呉市医師会等の関係機関の協力により，地域住民が現場の声を直に聞くことは効果的であった。今回，小児救急にかかる適正受診の意識の醸成の種をまくことができたが，比較的症状の軽い患者で二次・三次救急医療機関を直接受診している患者は多く，課題を抱えたままである。このため，引き続き住民に対する広報活動は大変重要であるとの認識のもとに「くれパステル」への第 2 弾の働きかけを呉市と協議中である。

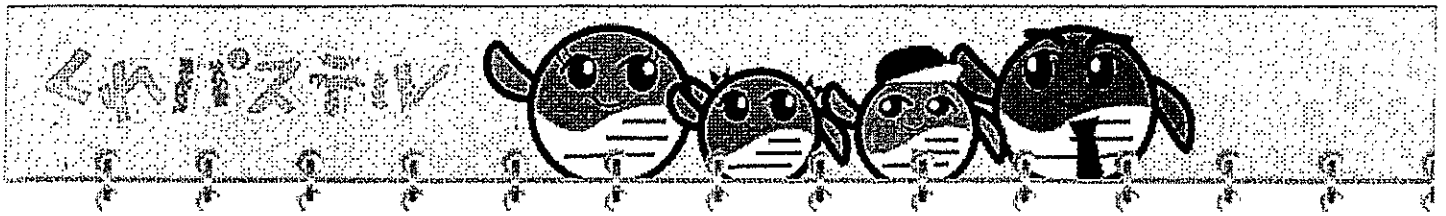
また，他のサークルへも輪を広げるため市の行政等と協力しながら医療現場の実態を知ってもらい，かかりつけ医の定着，救急医療機関の適切な受診の仕方について，今後とも積極的に啓発していく必要がある。

(2) 初期，二次及び三次救急の役割分担については，保護者が十分に理解していない呉圏域の実情がある中で，各病院は相互に協力し合いながら救急患者を受け入れている。

医療機関の役割分担を明確にしつつ，救急医療体制を円滑に運営していくことが重要である。

また，県，市町，医師会，医療機関等がより一層連携し，限りある医療資源をよ

り有効活用するために、引き続き地対協等関係機関による話し合いの場を活用し、地域の実情に適した対応について検討・協議を進める必要がある。



お知らせ

特集

- [小児救急医療に関する疑問 \(2012年12月29日 子育て支援\)](#)
- [小児救急医療 富河先生のインタビュー \(2012年12月29日 子育て支援\)](#)
- [知っていますか？小児救急医療 \(2012年12月29日 子育て支援\)](#)
- [子どもの病氣・けが SOS! \(2012年12月29日 子育て支援\)](#)
- [Cake Coffee&Music ふくえどう \(2012年12月29日 子育て支援\)](#)
- [肉団子の甘酢煮\(野菜入り\) \(2012年12月18日 てづくり\)](#)
- [大豆とそばろの混ぜごはん \(2012年12月18日 てづくり\)](#)
- [オレンジゼリー \(2012年12月18日 てづくり\)](#)
- [簡単トリュフ \(2012年12月18日 てづくり\)](#)
- [消しゴムはんこ講習 \(2012年12月15日 学ぼう♪楽しもう\)](#)

>>新着記事一覧

🍷 おでかけ



子どもと一緒におでかけできるスポット&レポートをお届けします。

📖 学ぼう♪楽しもう



キッズスクールから、ママが楽しめる講習会、ママが活き活き綺麗になれる情報をお届けします。

🍰 てづくり



簡単にできる手作りおもちゃや子育て便利品から、料理、パーティーメイキングまで。なんでもたのしく“てづくり”

👩‍🍳 子育て支援



子育て支援施設のご紹介、子育て支援サークルへの参加報告をお届けします。

👶 はぐくむ



出産から子どもの健康まで。知りたい情報をお届けします。

👧 子育てライブラリー



子育て中の日々のさまざまな出来事、子どものつづやきなどを紹介します。

でんごんぱん



次回編集会議は1月16日(水) 10時～ くれくれぼ研修室にて行います。
パステルの活動に興味がある方、見学大歓迎です(^^)